

Sanka

讃歌
夏号

京都九条病院 Communication Book

最先端の技術を駆使し、
最良の医療を目指していきます。

特集

消化器内視鏡センター長、
消化器内科部長にお聞きしました。

特集

特定健診(メタボリックシンドローム健診)
が始まりました。

コミュニケーション広場

健康は毎日の食事から「医食同源」講座 第8 講目
暮らしの中で病気予防「健康ライフ」講座 第8 講目
ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ 第12 弾
私の病院自慢あれこれ 第12 回

院内散策

『新・新しい病院作りキャンペーン』
ハイミーティング



院長 山木垂水



消化器内視鏡センター長
消化器内科部長 光藤章二

vol.12
2008 Summer
夏号

特集 1

消化器内視鏡センター長・
消化器内科部長にお聞きしました。

最先端の技術を駆使し、 最良の医療を 目指していきます。



Shoji Mitsufuji

京都九条病院
消化器内視鏡センター長 消化器内科部長

光藤 章二

カプセル内視鏡の導入で、
これまで「暗黒大陸」と呼ばれてきた
小腸の画像診断ができるようになりました。

京都九条病院では、この4月

から消化管の診療に新しくカプセル内視鏡による診断システムを導入しました。カプセル内視鏡とは名前の通りカプセル状の内視鏡で、サイズは大きめの薬くらいのものです。これを飲んでいただく、消化管を流れて行く8時間の間に約5万7千6百枚の画像が自動的に撮影され、それを解析し、血が出ているところや潰瘍ができているところを発見するシステムで、主に小腸の病気を見つけるの



カプセル内視鏡



ダブルバルーン小腸内視鏡

に大きな役割を果たします。

これまで消化管の診療は、長い管状の内視鏡を口から、あるいは肛門から入れて病気を見つけるという方法で行われてきました。しかし、この管状の内視鏡では食道、胃、十二指腸、大腸はカパーできて、小腸は見ることができなかったのです。というも、小腸は体の真ん中であって、しかも人間の体で一番長い器官であるため、口から入れた胃カメラも肛門から入れた大腸内視鏡も届かなかつたからです。消化管のどこからか出血しているが、胃カメラや大腸内視鏡ではその部位が見つからず、おそらく小腸だろうという場合、出血が起こると開腹手術を行いその場で調べるという方法しかなく、

そのため小腸は「暗黒大陸」とも呼ばれていたのです。小腸の病気で一番多いのは血管の異常による出血と潰瘍です。小腸は比較的病気になりにくい器官と言われてきましたが、最

近では、非ステロイド系消炎鎮痛剤がよく使われるようになったことと、脳梗塞や血栓性の心血管病の予防・治療に抗血小板療法としてアスピリン製剤（血をさらさらにする薬）を服用する方が多くなったことで、潰瘍にかかる人が増えてきています。放っておくと大出血を起こす恐れがあるうえ、たとえ潰瘍が自然治癒したとしても、治る過程でその部分の管が狭くなる癒痕狭窄を起こすことも少なくありません。癒痕狭窄を起こすとものが通らなくなり、たいへん危険です。これまではこうした小腸の病気はあまり知られていませんでした。小腸の病気発見という点でも、カプセル内視鏡診断システムは画期的な進歩をもたらしたと言えます。

さらに、このカプセル内視鏡で小腸の病気が見つかった場合、今度はダブルバルーン小腸内視鏡という長い内視鏡を入れて、出血している部位を治療します。このダブルバルーン小腸内視鏡も新しく導入したもので、これにより開腹することなく小腸病変を治療することができるようになり、患者さんの負担は大きく軽減されました。

OUR HOSPITAL CONCEPT

京都九条病院の基本理念

良質な医療を安定的に提供します。
さらに常に最大限最高の医療の提供を目指す
前向きな姿勢を持ち続けます。

OUR HOSPITAL POLICY

京都九条病院の基本方針

- ① 医療は患者さまとご家族と医療者が協同して行うものと考えます。
- ② 「奉仕の精神」を持ち、親切な対応、サービスの向上を心がけます。
- ③ 公平・公正で良質な地域医療を、安定的に提供し続けます。
- ④ 急性期医療に24時間対応し、専門性の高い高度医療を充実させます。
- ⑤ 治療に関する情報はすべて患者さまに開示し、分かり易く説明します。
- ⑥ 最先端の予防医学・健診技術を用い、「地域の人々の健康」に貢献します。
- ⑦ 地域支援の中核として活動し、トータルヘルスクエアを進めます。
- ⑧ 各種研修指定施設として、高い技能を持つ人材を育成します。

京都九条病院をセンターとして京都府下を繋ぐ、
消化器診断ネットワークシステムの
構築を目指しています。

カプセル内視鏡診断・ダブル
バルーン小腸内視鏡治療に、
一般向けの医療として保険が適
用されるようになったのは平成
19年の夏からです。私は以前
から大学で研究として取り組ん
でいたので、京都九条病院に
勤めることになって導入した
わけですが、両者を保有して
いる病院はまだ少ないのが
現状です。

もしくは京都九条病院に集め、
診断を行い結果を返送するとい
うセンター構想を立てています。
既に名古屋大学が20の医療施
設とネットワークを結んでカプ
セル内視鏡診断支援ネットワー
クを稼働させているので、これ
を参考に、京都でも府内全域を
カバーするネットワークを構築
し、小腸の病気をここで一手に
診断して、治療が必要な場合は
大学が京都九条病院に来ていた
だく、またはダブルバルーン内
視鏡を持っている病院を紹介す
るといふシステムを作りたい。
これができれば、その医療機関

に専門医がいなくても診断が行
えるので、わざわざ遠くの病院
まで受診に来ていただく必要も
なく、早期の胃癌や大腸癌を治療できます。

内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)なら、
開腹することなく、
早期の胃癌や大腸癌を治療できます。

胃癌や大腸癌の治療と聞くと、
すぐさまお腹を切る手術を思
い浮かべる方が多いのではな
いでしょうか。実は早期癌で
あれば、内視鏡的粘膜下層剥
離術(ESD)という方法に
よって開腹することなく癌を取
り除くことができるのです。こ
れは、内視鏡で病変部位を見な
がら癌に冒された粘膜を剥ぎと
り、口から引つ張り出すという

なくなりまして、地方と都市部
の医療格差是正にも貢献できる
のではないかと考えています。

方法で、日本が世界にリードす
る先端技術です。例えば胃癌の
場合、癌になった部分を切除す
るといふ方法では胃の何分の一
かを失うことになり、術後は食
事が少しずつしか摂れず痩せて
しまうなどの影響があったので
すが、ESDならば胃はそのま
ま残るので、術後もいまままで通
りの生活を送ることができます。
とはいえ、ESDで治療がで
きるのは早期癌に限られます。
癌を治療するにはなんと行って
も、「早期発見」が大切です。京
都九条病院は、いろいろな波長
の光で異常部位を見つける分光
画像内視鏡(FICE)を使っ
て早期癌の研究に取り組み拠点
施設(全国8施設の一つ)に選
ばれ、このたびその分光画像内
視鏡(FICE)を導入しまし
た。波長を変えることでこれま
で発見しにくかった胃や大腸の

癌も見つけやすくなり、より早
期発見に繋がるものと期待して
います。

いま、小腸はカプセル内視
鏡で診断し、ダブルバルーン
小腸内視鏡で治療する、食道
胃、大腸は分光画像内視鏡
(FICE)で診断し、内視
鏡的粘膜下層剥離術(ESD)
で治療するというシステムがで
きつつあります。やがて大腸に
もカプセル内視鏡が導入され、
スクリーニングとしてカプセル
内視鏡で見ても、異常が見つか
たら管を入れて確認するという
ような時代がくるでしょう。

すべて内視鏡で治療できるよ
うになれば、部分麻酔ですむ
え、退院までの期間も格段に短
くなり、患者さんの負担は大き
く軽減されます。私たちはこれ
からも最先端の技術を駆使して
常に最良の医療を患者様に提供
して行きたいと思っています。



特定健診 (メタボリックシンドローム健診) が始まりました。



Sumi Matsui

京都市立九条病院 健康増進部 部長
医師 日医認定産業医・健康スポーツ医・人間ドック認定医

松井 寿美

「特定健診」は
何のために行われるのですか。

松井 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の人を見つけて出し、治療が必要な状態の人に治療を受けてもらうだけでなく、その一歩手前の予備軍の人に病気になるような生活習慣を変えてもらうのが目的です。メタボリックシンドロームとは内臓脂肪型肥満に加え、高血圧、脂質異常、高血糖を併せ持った状態をいい、そのままにしてお

これまでの健診と
どのように違うのでしょうか。

くと動脈硬化が進行、心筋梗塞などの心臓病、脳卒中、糖尿病等の合併症といった命に関わる病気のリスクが高まります。

鳥本 40歳〜74歳の方の健診項目に、腹囲（おなか周りの寸法）の測定と、採血項目に生活習慣病の危険度を表すLDLコレステロール値（いわゆる悪

玉コレステロール値）が加わります。ちなみに、腹囲測定では、男性は85センチ、女性は90センチを超えるとメタボリックシンドロームと診断されます。また、健診の制度そのものも大きく変わりました。健康保険の発行者が主体となって健診を行うことになり、各機関にまかされていた基準値の扱いや健診後の指導の方法も統一されました。また、これまでは健診を受けるかどうかは個人の自由意志に委ねられていましたが、受診券を受け取った方は全員健診を受けることが求められます。

なぜ、40歳〜74歳の方が
対象なのでしょう。

松井 20歳代では、少々太っていて無茶な生活をしていてもコレステロール値や血圧の数値が悪くなることはほとんどありません。ところが、そのままの生活を続けて40歳代になると、もうコレステロール値や血圧が高くない人はないというくらい、生活習慣の差がはっきり出てくるからです。

健診を受けた後は
どうなるのでしょうか。

鳥本 健診結果に基づいて、リスクのない状態の方、リスクが現れ始めた段階（予備軍）の方、リスクが重なり出した段階（メタボリックシンドローム）の方、治療が必要な方の4段階に分けられ、治療が必要な方には直ちに治療を受けていただき、「予備軍」と「メタボリックシンドローム」段階と判断された方には、「特定保健指導」として生活習慣病に重点を置いた保健指導が行われます。指定の医療施設で指導を受けなさいという「利用券」が送られてきますので、まずその医療施設で面接を受けてください。「予備軍」段階の方には「動機付け支援」として、自分の生活習慣の改善点や実践して行く行動などに気づき、自ら目標を設定して行動に移せるよう面接指導が行われ、6ヶ月後にどのように改善されたか評価を受けます。一方、「メタボリックシンドローム」段階と判断された方には、「積極的支援」として、6ヶ月間にわたって生活習慣の改善が継続されるよう

「患者の権利」に関する宣言

京都九条病院では、患者さまの個人としての尊厳が守られ、より良い信頼関係の深まりとともに安心して医療が受けられるように、患者さまの権利に関する宣言を掲げます。

- 1 患者さまは、その社会的経済的地位・国籍・人種・宗教・年齢・性別・病気の種類によって差別されることなく、平等な治療を受ける権利を持っています。
- 2 患者さまは、自由に医療機関を選ぶ権利を持っています。
- 3 患者さまは、十分な説明を受けた上で、治療を受ける権利あるいは治療を受けることを拒否する権利を持っています。
- 4 患者さまは、医療のどの段階においても別の医師の意見を求める権利を持っています。
- 5 患者さまは、医師ならびに医療従事者が患者さまについて知り得たすべての医療上の情報及び個人的情報が保護される権利を持っています。
- 6 患者さまは、いかなる状態にあってもその人格を尊厳され、また尊厳をもってその人生を全うする権利を持っています。

私達京都九条病院職員は、患者さまの権利を尊厳し、十分な相互理解をもって、患者さまが最善の治療を受けられるよう最大限努力をします。私達京都九条病院職員は、良質な医療を提供し続けるために、常に前向きに努力することを誓います。

医療機関による電話や面接によるサポートが行われ、6ヶ月後に改善されたかどうかの評価を受けます。

「特定健診」は生活改善のチャンスです。

松井 これまでの健診は受けただけで終わってしまったのが、特定健診では結果に応じて指導を受けることが義務づけられています。治療域に入っている人には食事制限などが必要ですが、予防段階の人なら日常生活を少し変えるだけでコレステロール値や血圧数値が下がります。腹囲を目安に、体重を3キロ減ら

せば確実に効果が出るのです。制度として行われると、何か強制のように感じる方もおられるかもしれませんが、自分の健康への態度を見直してもらおうという機会。だからひっかかったらどうしようと思うのではなく、これを機会に生活習慣を見直してもらいたいと願っています。

鳥本 自動車なら定期的に車検を受け、どこが悪いと言われればすぐ修理をしますよね。故障を抱えたまま走っていては、いつ動かなくなるか不安ですから。ところが、自分の体のこととなると、どこが悪いですよ、と言われても聞き流してしまふ。でも、それでは確実に自分の命を縮めることになりまふ。忙しくて時間が取れないとか、



Kouichi Torimoto
京都九条病院 健康増進部 係長 臨床検査技師 鳥本 宏一

とても続けられないとおっしゃる方が多いのは分かっていますから、指導する方も少しずつ無理なく改善してもらええるプログラムをいろいろ準備しています。これを生活改善のチャンスだととらえていただき、まず自分がメタボリックシンドロームかどうか調べて、そうであった場合はしっかり指導を受けていただきたいですね。

ますます重い医療負担を求められることが予測されます。病気になる前に予防することは、経済面での負担軽減にも繋がるのです。生活を改善することは、自分のためにももちろん、社会のためにもなります。私たちもメタボリックシンドロームが減少していくよう、しっかりサポートして行きたいと思っています。一緒に、取り組みましょう。

「特定健診」の受診の仕方は保険者によって異なります。自分が加入している保険組合にお問い合わせください。

横尾重子看護部長・地域医療部長が日本看護協会会長表彰を受賞



横尾重子看護部長・地域医療部長が、看護職約60万人（日本で働く看護職の約半数）が加入する職能団体（社）日本看護協会の平成20年度の総会において、長年の功績が認められ協会会長表彰を受賞されました。横尾部長は、30年以上看護師を続けてこられただけでなく、長年、協会の理事や委員をつとめられ、その間、看護職のための研修会の開催や地域の健康まつり等でのボランティア活動、中学生や高校生に看護の仕事を知ってもらうための啓蒙活動などを行い、協会の活動に貢献されました。

FOOD for HEALTH

健康は毎日の食事から「医食同源」講座

講師：京都九条病院 管理栄養士

尾木 敦子
Atsuko Ogi



ビタミンB1を 効率よく摂って 夏に負けない体づくり。



蒸し暑い日が続き、暑さによる疲労、冷房による冷えや体のたるさ、冷たい飲み物の摂りすぎで体調を崩しやすい時期になりました。毎日暑く食欲がないからといって、そのめんどりだけで食事をすませてしまいがちですが、これでは体に必要な栄養が不足し、そのため疲労もたまりやすく、夏ハテを引き起こす原因となります。夏ハテを乗り切る一般的な方法としては、規則正しい生活と十分な睡眠をとる。ゆっくりと入浴をし、体をリラックスさせる。冷房の部屋と屋外の温度差は5度位にする。があり、また予防の食事としては、冷たい食べ物の摂りすぎに注意。ビタミンB群をしっかりと摂る。酸味のある食べ物を食べる。香辛料を利用して食べ物を食べる。などがあげられます。特に暑い季節には、摂った糖質をエネルギーに変えるためにかかせない、ビタミンB1が汗や尿から排出されてしまい、ストレスが多いと余分に使われるため、通常の3倍消費してしまいます。暑い夏では、意識的に毎日とる必要があります。夏ハテを解消させるのに、効果的といわれているのが、ビタミンB1を多く含む食品を取り入れ、夏に負けない体づくりをしましょう。



揚げ茄子の肉味噌田楽

材料(4人分)
1人分のエネルギー362Kcal
蛋白質9.6g、ビタミンB1 0.23mg、
食物繊維4.7g、食塩2.1g

- 茄子…4本
- 豚ひき肉…100g(大さじ6と大さじ2/3)
- 玉葱…40g(1/5ヶ)
- ごぼう…40g(1/4~1/5本)
- 生姜…3g(1/3かけ)
- 油…20g(大さじ1 1/2)
- 赤だし八丁みそ…75g(大さじ4)
- 砂糖…40g(大さじ4)
- みりん…9g(小さじ1 1/2)
- 白ごま…1g(小さじ1/2)
- 揚げ油…適量

茄子は、厚めの輪切りにし、180度の油で揚げる。

玉葱、ごぼう、生姜は、みじん切りにする。

フライパンに油を熱し、豚ひき肉とを炒める。

に赤だし八丁みそ、砂糖、みりんを入れ、味を調える。

に を盛り、仕上げに白ごまを散らして、出来上がり。

NURSING for HEALTH

暮らしの中で病気を予防「健康ライフ」講座

京都九条病院 看護部5F病棟 看護師

田辺 茂
Shigeru Tanabe

水泳でダイエット! 僕の「メタボリック シンドローム」 予防法。



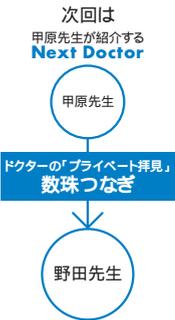
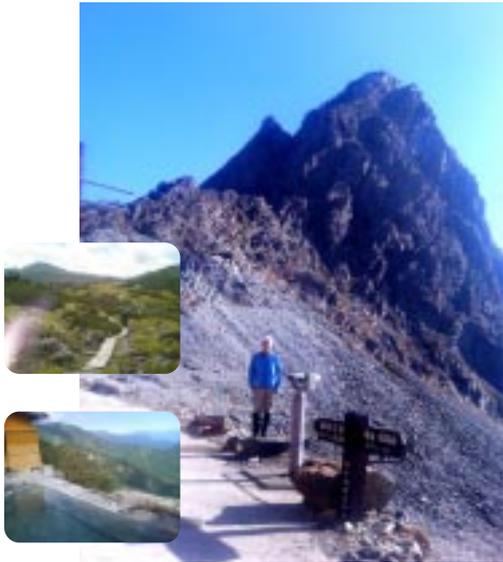
最近テレビや雑誌などで「メタボリックシンドローム」のシンドロームの特集をよく目にします。「メタボリックシンドローム」とは、「内臓脂肪症候群」とい、肥満に加え、高脂血症、高血圧、高血糖のうち2つ以上あてはまる状態をいいます。とくに、お腹の内臓のまわりに脂肪がたまるタイプの肥満が、「メタボリックシンドローム」になる可能性が高いといわれています。この内臓脂肪が生活習慣病になりやすいことが近年分かってきました。内臓脂肪は糖尿病、高脂血症、高血圧などの病気になるやすく、動脈硬化を経て脳卒中や心臓病などへ進展してしまいます。「メタボリックシンドローム」を放置しておく、時には命を奪い兼ねない怖いものなのです。

「メタボリックシンドローム」は、食生活や運動不足などの悪い生活習慣の積み重ねが原因。つまり、食事と運動のアンバランスを改善すればその予防・改善になります。その予防・改善のよい食事1日3食、バランスのよい食事を心がけ、ウォーキングなどの有酸素運動をしましょう。「メタボリックシンドローム」対策には、1日1万歩の普通の速さの歩行にプラス1週間に1時間程度の速歩を行うのが目安。1万歩の歩行を達成するには、通勤や買い物に加え、散歩などを取り入れるとよいでしょう。週1時間の速歩が難しいければ、代わりにジョギング、サイクリング、エアロビクス、水泳などもOKです。

そこで、僕のお勧めは水泳です。水泳は徐々に目標がきたり、人それぞれに目標があつたりします。打倒カナヅチが、もっと早く泳ぎたい、平泳ぎや背泳ぎをかつよく泳ぎたいなんて思うようになります。目標があるとプールに行くことが楽しくなりますよ。始めは水中ウォーキングでもいいので、プールに出かけてみましょう。水の中って気持ちいいものです。僕はダイエットのために水泳をはじめたのですが、今ではハタフライも泳げるようになりました。ダイエット効果もあり、ストレス発散にもなり、二石鳥です。「メタボリックシンドローム」の予防や改善のためにも、今年の夏は北京オリンピックをみて、刺激を受け、プールに出かけてみてはいかがでしょうか。



まばゆい陽光、透き通った空気、そしてみずみずしい自然。他ではたとえられないほどの気持ちよさがここにはあります。



普段はテニス、冬はスノーボード、夏は山歩き。いつもアクティブにスポーツを楽しんでいます。

FACE
of **DOCTOR**

ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ
京都九条病院 外科
甲原 純二先生
Junji Koubara



私は体を動かすのが大好き。といっても、ただ黙々と走るといったようなタイプのものは苦手で、テニスやスノーボード、山歩きなど楽しみながらできるスポーツが好きです。テニスは大学の頃からの趣味で、いまもテニスクラブに通っています。前任地の和歌山でもテニスサークルの人たちと草トーナメントに出て、プレーを楽しんでました。

夏にはここ数年、富山県にある「高高原温泉」や長野県にある「白馬鑓温泉」など、歩いてしか行けない秘境の温泉に出かけています。

とくに「高高原温泉」は車や列車が行けるところから、歩いて2日はかかるという秘湯中の秘湯。最小限の食料や着替えを持って、山小屋などを泊まり歩きながら行くのですが、これだけ苦労したあとの温泉の気持ちよさは格別です。確かに温泉が目的地ではあるのですが、実は温泉そのものより、そこにたどり着くまでの過程が楽しいんです。だから、毎年行きたくくなります。基本的にいつも何かやっていたい、じっとしてられない性格です。今年の夏は趣向を変えて海方面を目指してみようかな?とも思っています。

LOVE
my **HOSPITAL**

私の病院自慢あれこれ

病院のここが好き!!
京都九条病院のイイところ。
こんなところがわたしたちの自慢です。

好きな言葉 favorite word
「信頼」
船津 智広
事務部 医事課



職員が誠心誠意取り組んでいるところです。医事課は、窓口での受付業務だけでなく、救急時に受け入れ体制を整えるという役目も担っています。基本的にどんな患者様も受け入れを断らないというのが当病院の方針。ときには急患が重なって大変な時もありますが、重篤だった方が退院されたときには、この仕事をしてよかったという充実感を感じます。
医療スタッフと患者さんを繋ぐポジションにいる者として、スタッフと患者さん両方から信頼されるようになりたいですね。

好きな言葉 favorite word
「思いやり」
伊藤 恵
検査部 放射線科



患者さんだけでなく仲間に対してもスタッフの対応が丁寧なんです。私はまだ仕事に就いて2ヶ月の新米!戸惑うことも多いのですが、みなさん忙しい時でも時間を作って丁寧に教えてくださいましたので、とても気持ちよく働けます。
最近は乳がん検診に来られる方も増えていて、女性患者さんから同性だから悩みを打ち明けやすいと言われます。患者さんの不安や悩みを耳を傾け、「この技師さんでよかった」と言ってもらえるようにしたいと思っています。

好きな言葉 favorite word
「ありがとう」
岸本 綾子
リハビリテーション課 言語聴覚士



とにかくコミュニケーションが密。悩んでいると誰かが声をかけてくれるので、独りで落ち込むことはないですね。チームワークも抜群です。一人の患者さんに対し、理学・作業療法士と組んでリハビリを行っているのですが、互いに専門の立場から意見を出し合い協力し合っアブローチするので、よりよいリハビリが提供できるんですよ。入社して今年で3年目。さらに知識と技術を磨くのと同時に、それらを後輩に教えられる指導力を身につけたいと思っています。

好きな言葉 favorite word
「信頼」
中川 巳子
看護部 2階病棟



ここに勤めて十数年。働きやすい職場だからこそ続けて来られたと思っています。何しろ居心地がいいんですよ。自宅が近く家族が受診することもあるのですが、対応が早いし、地域住民の立場からも信頼できる病院ですね。
私の担当は内科病棟。常に患者さんの状態を注意深く見守るよう心がけています。その甲斐あって回復した患者さんから、「ここまで元気になったよ」「ありがとう」と声をかけていただくことも多く、毎日の励みになっています。

『新・新しい病院作りキャンペーン』IIミーティング

私たち医療法人同仁会は理想として掲げる「Mother Heart Community」の母の心な優しい心に満ちたコミュニティであることの実現を目指して、平成19年、新・新しい病院作りキャンペーン』をスタートさせました。その第一歩として同年5月9日

にはキックオフミーティングを実施し、さらにこのミーティングで話し合われた問題点を解決するために、施設の垣根を越えた4つのプロジェクトチームを編成して、「情報の共有化」「医療法人同仁会で働く者同士のチームワークについて」「働いている私

ち自身がどうすれば楽しく働けるか」というテーマで協議、検討を進めてきました。こうした活動をふまえ、目標に向けてより具体的な段階へと歩を進めるため、キックオフミーティングから

5月9日、京都テルサにその日の業務者を除く医療法人同仁会職員全員が集まり、『新・新しい病院作りキャンペーン』IIミーティングを開催しました。

ミーティングではまず、松井理事長による「新しい病院作りとは」をテーマにした講演が行われました。高齢社会の進行、政府による低医療費政策など医療を巡る環境が大きく変化するなかで、よりよい医療サービスを提供するためには、「新しい病院作り」が急務であること。そして「医療法人同仁会が地域の方々の望まれる医療機関となるために、よりいそぎ、急性期医療の充実」「介護事業」「予防医学」「アムネティーの向上」「ホスピタリティー（もてなしの心）」「地域との双方方向のコミュニケーション」に取り組まねばならないこと。さらに、地域の方々の予防から

急性期、介護までトータルにサポートできるよう同仁会グループの施設間で緊密に連携していくことが重要である、といった内容が述べられ、最後に京都九条病院が京都府立医科大学と連携し京都府の消化器医療の拠点病院として活動していくことが報告されました。

続いて、スロージェンジーコーディネーション代表の森山裕二氏がコーディネーターとは？ 患者さん視点のコミュニケーション」と題して講演。森山氏は、「相手の最大限の潜在能力を発揮させることがコーディネーターであり、そのために教えるのではなくその人の自発性を高め、自分で解決する方法を引き出す」ものであると解説。そのコーディネーターで一番大切なのは相手の話を興味、関心、好奇心を持って「傾聴」することであり、それこそが相手の信頼を得る基本である事。そして、このコーディネーターのスキルを患者さんや同僚との関係をよりよくするためのコミュニケーション技術として役立ててほしいと話されました。

私たちはこのミーティングを機に、「新しい病院作り」の実現に向けて職員全員が当事者として行動していくことを改めて決意するとともに、「人々が心身ともに健康で尊厳を持って人生を全うできることに貢献すること」を確認しました。医療法人同仁会は、地域の皆様のニーズに応えられるよう進化し続けて参ります。どうぞご支援、そしてご期待ください。



医療法人同仁会(社団)
京都九条病院
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10
TEL 075-691-7121・FAX 075-691-5311 www.kujohp.com/

医療法人同仁会(社団)
介護老人保健施設 **マム フローラ**
〒617-0853 京都府長岡京市奥海印寺奥ノ院25-2
TEL 075-958-3388・FAX 075-951-5300 www.dojinkai.com/mam_f/

医療法人同仁会(社団)
介護老人保健施設 **マム クオーレ**
〒601-8326 京都市南区吉祥院南落合町40-3
TEL 075-691-7755・FAX 075-691-7765 www.dojinkai.com/mam_c/

医療法人同仁会(社団) 京都九条病院
訪問看護ステーション・マム
〒601-8454 京都市南区唐橋経田町16
TEL 075-661-3820・FAX 075-661-3835 www.dojinkai.com/mam_s/

京都市唐橋地域包括支援センター
京都市唐橋地域包括支援センター介護予防支援事業所
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10
TEL 075-692-3368・FAX 075-692-3348 www.dojinkai.com/mam_s/

医療法人同仁会(社団)
居宅介護支援マムステーション
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10
TEL 075-691-7200・FAX 075-691-7116 www.dojinkai.com/mam_s/

医療法人同仁会(社団)
同仁会クリニック
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30
TEL 075-691-7766・FAX 075-693-6175 www.do-clinic.com/

医療法人同仁会(社団) 同仁会クリニック(併設)
同仁会疾病予防研究所
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30
TEL 075-691-5070・FAX 075-693-6135 www.do-clinic.com/yobo/

京都九条病院(提携)同仁会クリニック(併設)
メディカルフィットネスクラブ SHIN-SHIN
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30
TEL 0120-558-756・FAX 075-672-1414 www.e-shinshin.com/